

令和6年11月の大雨事例、及び 防災気象情報の体系整理について

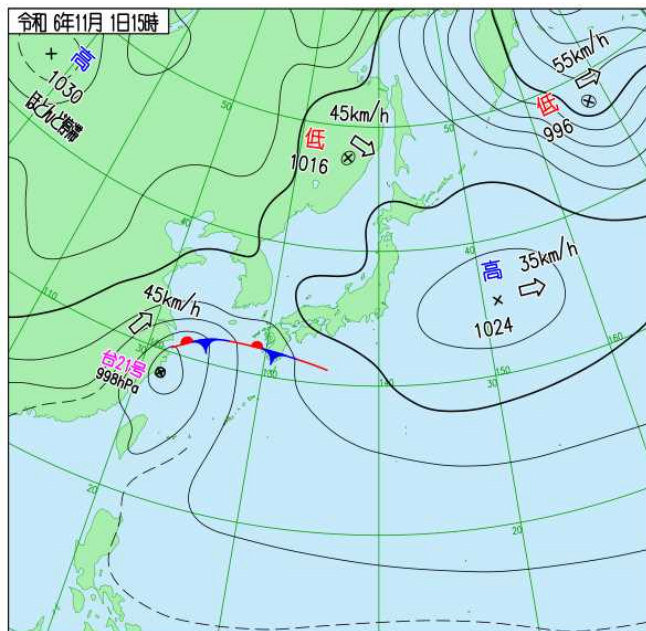
神戸地方気象台

概要

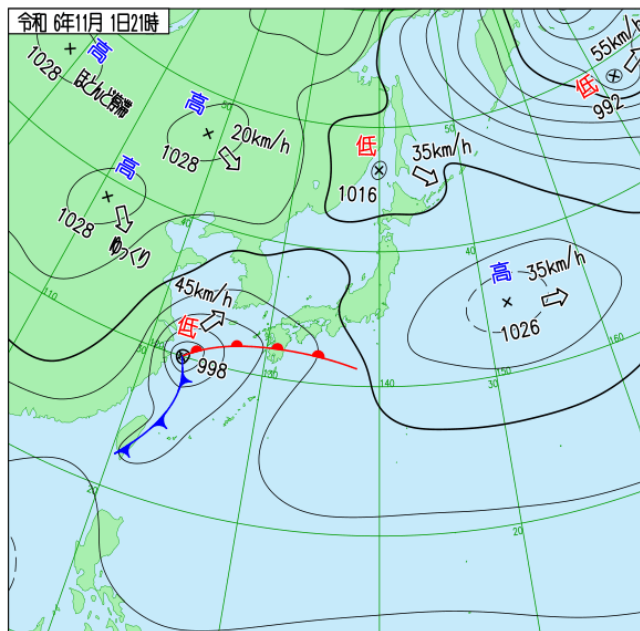
前線が11月1日は東シナ海から日本の南に停滞し、2日は西日本から東日本付近まで北上しました。前線上に低気圧が発生し、夕方にかけて西日本を通過しました。前線や低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定になり、11月1日から2日にかけて近畿地方や中国地方、及び四国地方では大雨となりました。中国地方では降り始め(1日08時)からの降水量が200ミリを超える所があり、2日は島根県奥出雲町横田で24時間降水量が189.0ミリを観測し、観測史上1位の値を更新しました。また、愛媛県では松山空港で1時間降水量が78.5ミリを観測するなど、松山市や今治市で1時間降水量や3時間降水量の観測史上1位の値を更新する観測地点がありました。その他、近畿地方や中国地方、及び四国地方では1時間降水量等の11月の1位の値を更新する観測地点が多くありました。

天気図

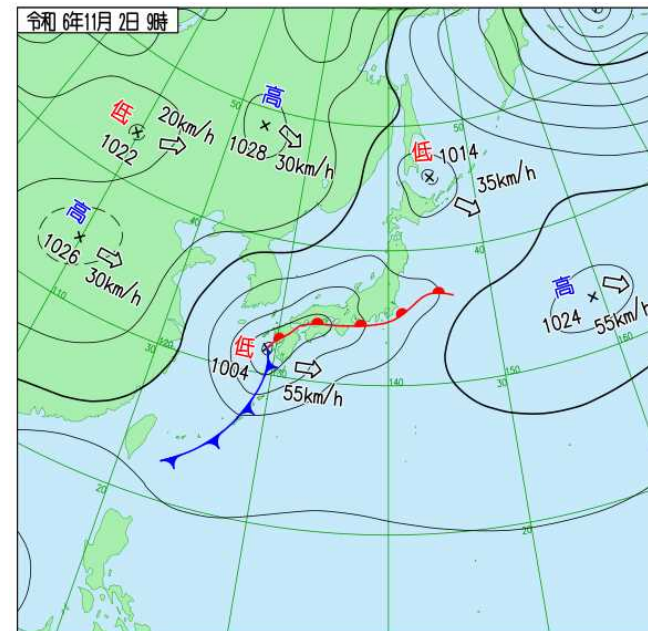
11月1日15時



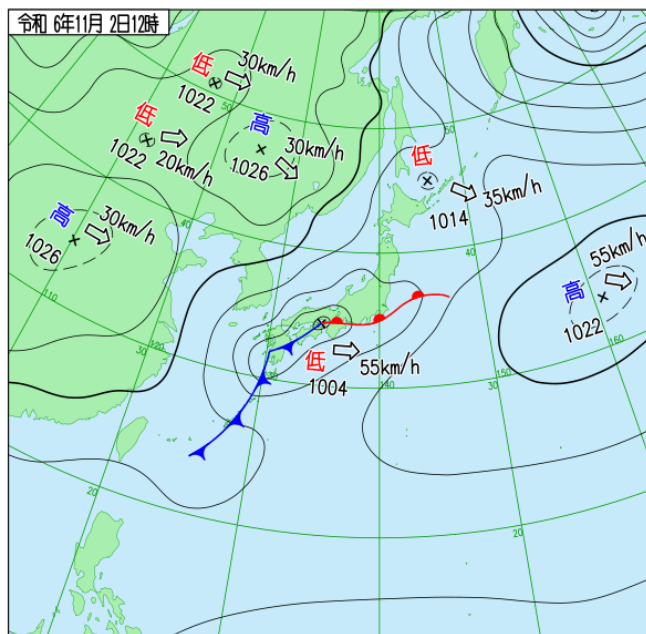
11月1日21時



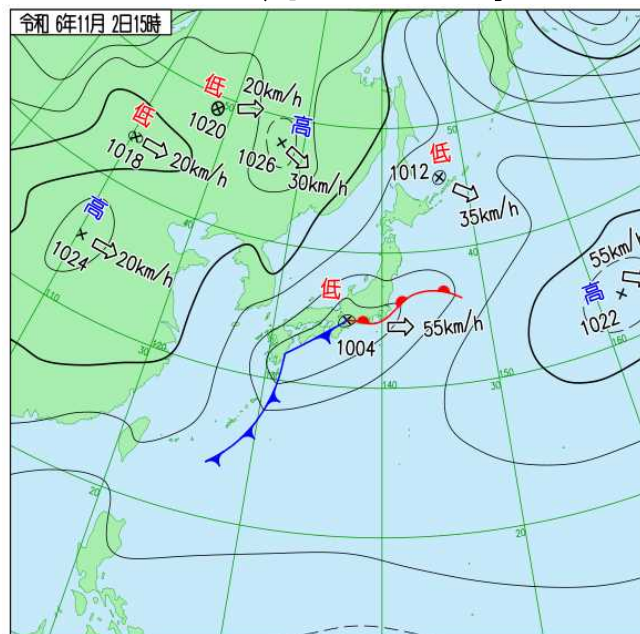
11月2日9時



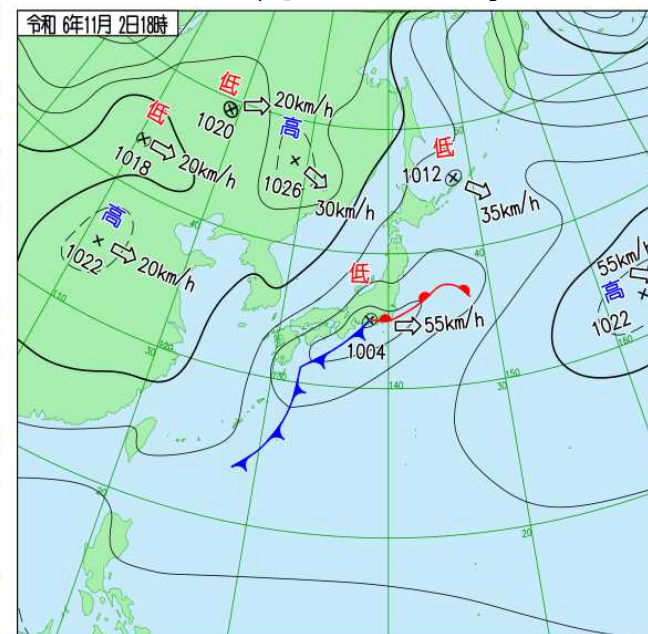
11月2日12時



11月2日15時



11月2日18時



11月2日14時00分までの 12時間積算解析雨量



兵庫県内アメダスの降水量

地点名	2日 日降水量	地点名	2日 日降水量
香住	81.0	後川	96.5
温泉	95.5	上郡	46.5
豊岡	86.5	姫路	63.5
兔和野高原	85.0	三田	78.0
大屋	115.5	三木	52.5
八鹿	102.5	西宮	52.5
和田山	110.0	家島	39.0
生野	105.0	明石	30.0
柏原	98.0	神戸空港	34.5
佐用	64.0	神戸	44.0
一宮	83.5	郡家	20.5
福崎	72.0	洲本	57.5
西脇	60.5	南淡	37.0

11月2日の県内観測地点の日降水量 (単位:mm)
赤字は11月の日降水量の極値を更新した観測地点

台風の発生数

2024年の台風の発生数[協定世界時基準] (2024年12月6日現在)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
2024					2		2	6	8	3	4		25

11月に台風が発生すること自体は珍しくはありません。

2023年までの台風の発生数[協定世界時基準](csvファイル)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
2023				1	1	1	3	6	2	2		1	17
2022				2		2	2	5	7	5	1	1	25
2021		1		1	1	2	3	4	4	4	1	1	22
年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
2020					1	1		8	3	6	3	1	23
2019	1	1				1	4	5	6	4	6	1	29
2018	1	1	1			4	5	9	4	1	3		29
2017				1		1	8	6	3	3	3	2	27
2016							4	7	7	4	3	1	26
2015	1	1	2	1	2	2	3	4	5	4	1	1	27
2014	2	1		2		2	5	1	5	2	1	2	23
2013	1	1				4	3	6	8	6	2		31
2012			1		1	4	4	5	3	5	1	1	25
2011					2	3	4	3	7	1		1	21

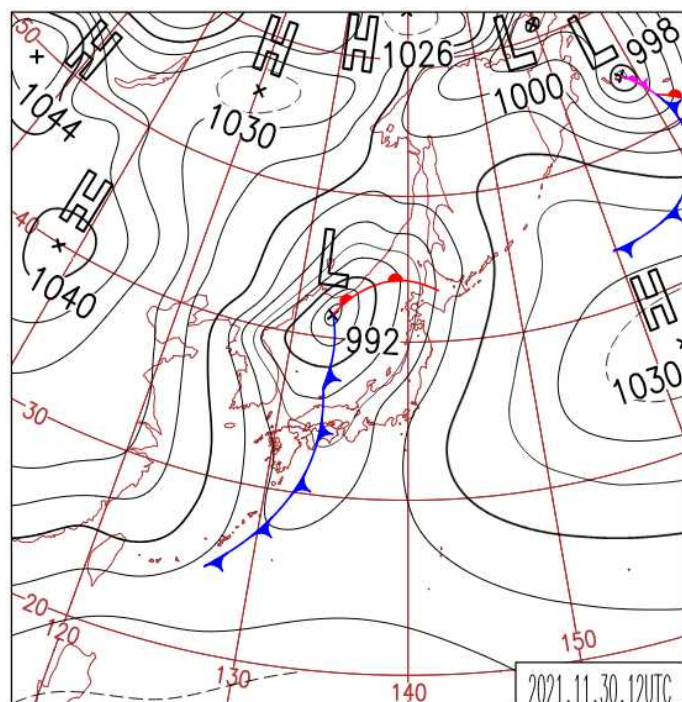
(注)2024年の値は速報値のため、後日変更になる場合があります。

一方で、11月の大雨警報(浸水害)、洪水警報は珍しい！

令和6年11月2日

- ・大雨警報（浸水害）：阪神、播磨南西部
- ・洪水警報：阪神、北播丹波、播磨北西部、播磨南東部、但馬北部、但馬南部

2021年11月30日

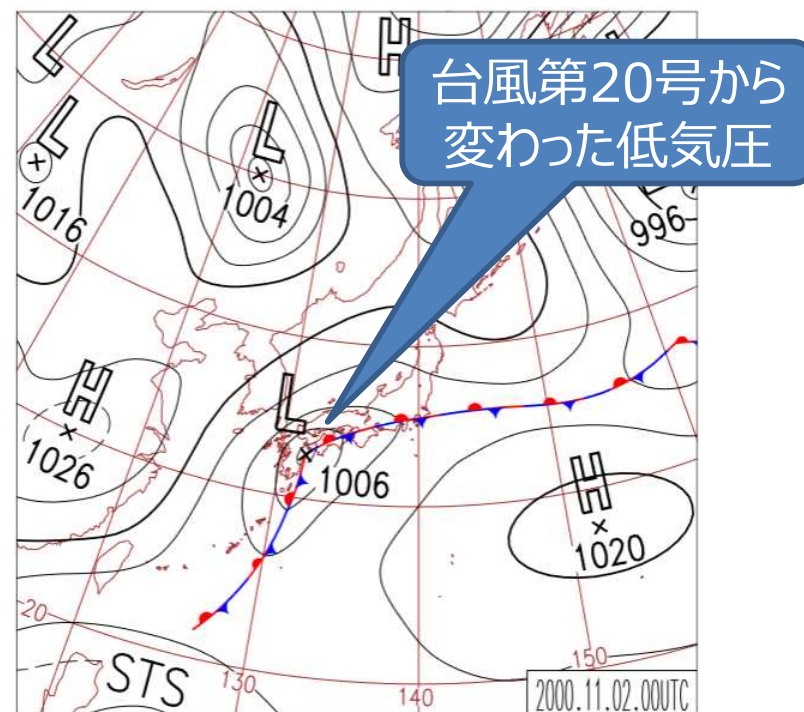


大雨警報(浸水害)、洪水警報
播磨南東部、淡路島

それ以前だと



2000年11月2日



大雨警報、洪水警報
南東部、淡路島

オンライン気象解説の実施

2日の天気についてのポイント

神戸地方気象台
令和6年11月1日14時現在

- 東シナ海から日本の南にのびる前線が、2日にかけて西日本へ北上し、前線上の低気圧が2日午後、近畿地方を通過する見込みです。
- 前線や低気圧に向かって、台風第21号を起源とする、上空の気温が平年より10度程度高い暖かく湿った空気が流れ込む予想となっています。このため、兵庫県では、2日朝から夜のはじめ頃にかけて大気の状態が非常に不安定となり、局地的に雷雲が発達する見込みです。
- 兵庫県では、**2日昼過ぎから夜遅くにかけてを対象に大雨の早期注意情報（警報級の可能性）【中】**を発表中です。予想よりも雨雲が発達した場合や停滞した場合は、**警報級の大雨となるおそれがあります。低い土地の浸水や土砂災害、河川の増水に十分注意**してください。
- 2日朝から夜のはじめ頃にかけて、**竜巻などの激しい突風や落雷にも注意**してください。
- 南部では、**2日昼前から夕方にかけてを対象に暴風と波浪の早期注意情報（警報級の可能性）【中】**を、1日17時予報にて発表する予定です。海上を中心に非常に強い風が吹き、波が高くなるでしょう。予想よりも風が強まった場合は、**暴風や警報級の高波となるおそれがあります。暴風や高波に十分注意**してください。

気象台では、
11月1日14時に
オンライン気象解説を
実施し、2日の大雨に
ついて、
注意を呼びかけました。

今後も、兵庫県に大きな
影響を与える天候が
予想される場合には、
オンライン気象解説や
防災メールを送付し、
防災対応の支援を行って
いきます。

- シンプルでわかりやすい防災気象情報の再構築に向け、防災気象情報全体の体系整理や個々の情報の見直し、受け手側の立場に立った情報への改善などを取りまとめ。

警戒レベル相当情報の体系整理

◎ シンプルでわかりやすい情報体系・名称に整理

令和8年度出水期からの
運用開始を目標に準備中

- 【洪水】：氾濫による社会的な影響が大きい河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫を対象とし、河川ごとの情報とする。
これ以外の河川の外水氾濫については、内水氾濫と併せて市町村ごとに発表する【大雨浸水】に関する情報とする※¹。
- 【土砂災害】：発表基準の考え方を統一し、災害発生の確度に応じて段階的に発表する情報とする。
- 【高潮】：潮位に加えて沿岸に打ち寄せる波の影響を考慮し、災害発生又は切迫までの猶予時間に応じ段階的に発表する情報とする。

		洪水に関する情報 「洪水危険度」	大雨浸水に関する情報 「大雨危険度」※ ¹	土砂災害に関する情報 「土砂災害危険度」	高潮に関する情報 「高潮危険度」
発表単位		氾濫による社会的影響大の河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫	内水氾濫及び左記以外の河川の外水氾濫		
警戒レベル相当情報※ ⁴					
5相当		レベル5 氾濫特別警報※ ³	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報※ ³
4相当		レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
3相当		レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
2		レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報

左記情報名称のポイントをシンプルに表現
→将来的に「警戒レベル」が社会に十分に浸透した際には、以下のようなシンプルな形の名称を検討することも一案。

	洪水危険度	大雨危険度	土砂危険度	高潮危険度
5相当	洪水レベル5	大雨レベル5	土砂レベル5	高潮レベル5
4相当	洪水レベル4	大雨レベル4	土砂レベル4	高潮レベル4
3相当	洪水レベル3	大雨レベル3	土砂レベル3	高潮レベル3
2	洪水レベル2	大雨レベル2	土砂レベル2	高潮レベル2

- ・ 情報名称の最終決定は、法制度や実際の情報の運用、伝え方なども踏まえ、気象庁・国土交通省が行う。

※¹ 警戒レベル相当情報への位置づけについては、関係機関で今後の課題として検討。

※² 発表単位をどうすべきかについては、情報利用者の視点も踏まえつつ、引き続き関係機関で検討。

※³ 洪水予報河川または水位周知河川、高潮に関する情報の対象沿岸において氾濫の発生を確認した場合、その旨を氾濫特別警報または高潮特別警報の文章情報等に明記。

※⁴ 警戒レベル相当情報とは、国・都道府県が発表する防災気象情報のうち、居住者等が自ら行動をとる際の判断に参考となる防災気象情報と5段階の警戒レベルとを関連付けるものである。警戒レベル相当情報が発表されたとしても必ずしも同時刻に同じレベルの避難情報が発令されるものでない。